

第 38 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 38 回交通工学研究発表会の発表申込につきましては、各分野の研究者・実務者から論文の投稿を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、当会での自主研究活動の報告、並びに受託研究のご案内の機会を設けました。研究発表会にご参加の方々に交通工学研究会の活動を知って頂く機会として、多くの方々にご参加いただきますようご案内いたします。

● 第 38 回交通工学研究発表会

- 主催：一般社団法人 交通工学研究会
- 開催日：平成 30 年 8 月 7 日(火)～ 8 日(水) [受付開始は各日ともにプログラム開始の 30 分前]
- 会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 4 階 (東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)
JR 中央・総武線御茶ノ水駅 徒歩 3 分、東京メトロ新御茶ノ水駅 徒歩 3 分、都営新宿線小川町駅 徒歩 4 分
※当日は同じ建物の別フロアで、他学会の発表会も開催されておりますので十分ご注意ください。
- プログラム：当会ウェブページでご確認ください。
- 参加費：発表者、聴講者 共通 (論文集(CD-ROM)代、消費税を含む)
①請求払い：交通工学研究会 会員 6,172 円 学生会員 3,086 円 非会員 9,257 円
②現金払い：交通工学研究会 会員 6,300 円 学生会員 3,200 円 非会員 9,400 円
※お申込み後の支払い方法の変更はご遠慮願います。

● 交通工学研究発表会 懇親会

交通工学研究発表会では、参加者及び会員相互の親睦を深めることを目的に懇親会を行っており、これまでご出席された方から大変ご好評を頂いております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

開催日：平成 30 年 8 月 7 日(火) 18:30～

会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 2 階 カフェテリア(学生食堂)

会費：3,000 円 (消費税込。立食形式です。当日懇親会場にて現金でお支払い願います。)

申込方法：発表会へのお申込み時に、懇親会参加希望欄でお知らせ下さい。懇親会のみのお申込みも歓迎します。

● 交通工学研究会 自主研究活動報告と受託研究のご案内

交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、現在活動中の公募型自主研究の活動経過をデモンストレーションスペースで説明します。また平成 29 年度末に終了した 2 件の基幹研究「道路の交通容量とサービスの質に関する研究」(代表：中村英樹 名古屋大学教授)、及び「災害発生時における交通課題研究」(代表：元田良孝 岩手県立大教授)の成果についてはプログラムの中で時間を設け口頭報告します。さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順等についてご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。開催時間や会場名などの詳細についてはプログラムでご確認ください。

● 交通工学研究会会長報告「JSTE の今とこれから タスクフォース始動！」

上記の研究活動の口頭報告に続けて、当会会長の赤羽弘和(千葉工業大学教授)より報告します。

事前申込みご協力をお願い

当日の参加申込みは、受付の混雑によりお待ちいただく事もございますので、事前にお申込みをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。現金払いの方もお待ちいただく場合がございますので予めご了承ください。

お申込方法

当会 WEB ページ(<http://www.jste.or.jp/Event/index.html>)より申込フォームにアクセスし、必要情報をご入力・送信下さい。右の QR コードからも、申込フォームに直接アクセスできます。→
書面によるお申込みを希望の方は、当会 WEB ページより申込書をダウンロードし FAX を送信下さい。



お申込後について

- ◆ 7 月下旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に参加カード等書類をお送りしますので(請求払い希望の方へは、見積書・請求書・納品書も同封)、お手元に届き次第、ご確認をお願いいたします。8 月 2 日(木)を過ぎても書類等が届かない場合は事務局までご連絡ください。
- ◆ お支払いは、①請求払いを希望された方は、郵便振替または銀行振込にてお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。②現金払いを希望された方は、発表会の当日、受付でお支払い願います。お釣りの無い様ご準備願います。
- ◆ 8 月 3 日(金)正午までに確認ができたお申込み分については、論文集(CD-ROM)及び書類等を事前発送いたします。それ以降にお申込みの方は、当日渡しとなりますので、会場受付でお申込みされた方のお名前をお伝えください。

● 交通工学研究会 個人会員入会キャンペーンのお知らせ

当会では、7 月 1 日～7 月 31 日に個人会員への入会手続き頂いた方に限り、第 38 回交通工学研究発表会参加費を免除するキャンペーンを実施いたします(論文集 CD-ROM は実費頒布)。この機会に是非個人会員への入会をご検討ください。詳しくは、ホームページをご覧ください。



お申込み・お問合わせ：一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

※悪天候時の対応など、緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

第38回交通工学研究発表会 第1日目 [2018年8月7日(火)] プログラム

発表10分、質疑12分 は発表者

第1会場 (4階141教室)

第2会場 (4階142教室)

第3会場 (4階143教室)

第4会場 (4階144教室)

1. 交通安全(1) 座長: 森本 章倫(早稲田大学) 副座長: 田中 義宗(警視庁)			5. 交通流 座長: 大口 敬(東京大学) 副座長: 邢 健(株)高速道路総合技術研究所)			9. 道路構造・維持管理 座長: 瀬戸下 伸介(国土技術政策総合研究所) 副座長: 梶田 佳孝(東海大学)			13. 交通行動分析・交通需要(1) 座長: 中村 文彦(横浜国立大学) 副座長: 吉岡 正人(中央復建コンサルタンツ株)			
10:00	1 訪日外国人によるレンタカー-利用時のヒヤリハット体験に関する研究	○猪井 博登 森川 美紅 葉 健人 土井 健司	富山大学 大阪府 大阪大学 大阪大学	30 観測調査に基づいた自動運転車の挙動特性と交差点での交通流へ与える影響の分析	○香山 裕紀 鈴木 裕司	名古屋工業大学 名古屋工業大学	58 道路利用者負担を考慮した複数主要橋梁における長期補修シナリオに関する分析	○谷田 英駿 奥嶋 政嗣	徳島大学 徳島大学	88 交通サービス条件及び個人・世帯属性に着目した交通行動特性 - 東京都圏におけるWEBアンケート調査より - (実務論文)	○石井 良治 毛利 雄一 青野 貞康	(一財)計量計画研究所 (一財)計量計画研究所 東京大学
10:23	2 交通違反・危険運転に対する許容度の国際比較	○鈴木 一史 中村 英樹	群馬工業高等専門学校 名古屋大学	31 首都高速道路サグ部における自動運転普及後の交通流	○中村 司 川嶋 弘尚 鎌田 康右 山田 康右 大島 大輔 今川 高嶺 小島 朋己	首都高速道路株 慶應義塾大学 慶應義塾大学 パシフィックコンサルタンツ株 パシフィックコンサルタンツ株 パシフィックコンサルタンツ株 首都高速道路株	59 自動路路面状態判別システムを活用したスマート凍結防止剤散布システムの開発 (実務論文)	○大廣 智則 高倉 清 桜庭 拓也 花塚 泰史 萩原 亨	㈱ネクスコ・エンジニアリング北海道 ㈱ネクスコ・メンテナンス北海道 東日本高速道路株 ㈱アブリスト 北海道大学	89 交通行動・交通環境が健康に及ぼす影響に関する実証的研究	○長谷川 正憲 宮川 愛由 藤井 聡	元京都大学 京都大学 京都大学
10:46	3 道路交通秩序維持活動の効果に関する基礎研究	○三村 泰広 安藤 良輔	(公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所	32 ACC車両が混在する高密度交通流の挙動と運転者行動への影響	○飯田 克弘 浅田 真敬 多田 昌裕 筑後 智弘 西田 将之 安 時亨 澤田 英郎	大阪大学 大阪大学 近畿大学 中日本高速道路株 近畿大学 西日本高速道路エンジニアリング(関西)株 西日本高速道路エンジニアリング(関西)株	60 堆雪の形成による冬期交通流の変動と対策について (実務論文)	○宗広 一徳 村上 和也 中村 直久 佐藤 昌哉	土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所	90 「道の駅」の地域福祉機能がもたらす外出入頻度の変化に関する分析	○伊勢 昇 ○湊 絵美	和歌山工業高等専門学校 和歌山市役所
11:09	4 中学生のためのミーリング 自転車安全教育プログラムの効果測定	○菊池 輝 小川 和久 只野 健一	東北工業大学 東北工業大学 中野建設コンサルタンツ株	33 首都圏高速道路網における渋滞の時間分布の安定性	○酒井 高良 赤松 隆	東北大学 東北大学	61 自動車運転支援のための道路区画線の更新周期に関する研究	○安井 一彦 兵頭 知 小野 拓海 池田 隆博	日本大学 日本大学 千葉県 ㈱ジェムバ	91 山間部狭あい道路における時間帯別一方通行規制社会実験 - 宮崎県小林市・綾町の周遊観光ルート開発に向けて - (実務論文)	出口 近士 鈴木 彰一 行田 明生 片地 洋平 田牧 良 ○佐多 孝徳	宮崎大学 国土交通省宮崎河川国道事務所 宮崎県 小林市役所 綾町役場 玉野総合コンサルタンツ株
11:43	5 ドライブレコーダー設置義務化の規制影響分析	○加藤 正康 鹿島 貴 小林 貴	中央大学 中央大学 交通安全環境研究所	34 微分制御項を取り入れた追従モデルの同定とサグ渋滞の再現精度の検証	○石丸 卓朗 赤羽 弘和	千葉工業大学 千葉工業大学	62 既設橋梁採用ワイロプ式防護柵の開発 (実務論文)	○平澤 匡介 佐藤 昌哉 村松 忠久 佐藤 義悟	土木研究所 寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 ㈱高速道路総合技術研究所 鋼製防護柵協会	92 京都市におけるパークアンドライド施策による道路交通環境の改善効果 (実務論文)	○杉田 正俊 山田 真 中安 彬 渡辺 由起 福本 紗千 清水 英聖	(公財)日本道路交通情報センター 京都市 京都市 京都市 ㈱ピタムジャパン (公財)日本道路交通情報センター (公財)日本道路交通情報センター
12:06	6 ドライブレコーダーの分析結果を活用した危険事象の見極め方法の提案	○尾崎 悠太 川松 祐太 小林 寛	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所	35 都市間高速道路におけるLED標識を用いた車線利用率平準化渋滞対策の実証的研究 (実務論文)	○後藤 誠 南 肇 ○外山 敬祐 松下 健介 石田 貴志	東日本高速道路株 東日本高速道路株 東日本高速道路株 ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング ㈱道路計画	63 リスク指標を用いたラウンドアバウト幾何構造の安全性評価	○吉岡 慶祐 中村 英樹 下川 澄雄 森田 紳之	日本大学 名古屋大学 日本大学 日本大学	93 地方都市におけるライドシェアの成立可能性と効果に関する研究 - 群馬県ハートランド調査データを用いた分析	○田村 祐貴 トロンコ バラディ 高見 淳史 原田 昇	東京大学 東京大学 東京大学

13:30 ~ (第1会場)に於いて、交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、平成29年度末に終了した2件の基幹研究「道路の交通容量とサービスの質に関する研究」(代表:中村英樹 名古屋大学教授)、及び「災害発生時における交通課題研究」(代表:元田良孝 岩手県立大学教授)の成果についてはプログラムの中で時間を設けて口頭報告します。さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順等についてご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。

14:00 ~ 交通工学研究会会長報告「JSTEの今とこれから タスクフォース始動!」上記の研究活動の口頭報告に続いて、当会会長の赤羽弘和(千葉工業大学教授)より報告します。

2. 交通安全(2) 座長: 萩原 亨(北海道大学) 副座長: 大槻 謙(国土交通省道路局)			6. 歩行者交通 座長: 屋井 鉄雄(東京工業大学) 副座長: 鈴木 弘司(名古屋工業大学)			10. 公共交通 座長: 山中 英生(徳島大学) 副座長: 吉田 樹(福島大学)			14. 交通行動分析・交通需要(2) 座長: 奥村 誠(東北大学) 副座長: 篠崎 毅(パシフィックコンサルタンツ株)			
14:15	7 交通流状態と幾何構造を考慮した都市間高速道路の事故発生リスク分析	○坪田 隆宏 吉井 稔雄 那 健	愛媛大学 愛媛大学 ㈱高速道路総合技術研究所	36 イスカレーター内の歩行に関する基礎研究 (実務論文)	○元田 良孝 手佐美 誠史	岩手県立大学 岩手県立大学	64 地方自治体による地域公共交通の運営状況に関する調査 (実務論文)	○辰巳 浩 堤 香代子 吉城 秀治	福岡大学 福岡大学 福岡大学	94 エージェントベースシミュレーションを用いた自動運転車普及シナリオの評価	○上条 陽 トロンコ バラディ 高見 淳史 原田 昇	東京大学 東京大学 東京大学 東京大学
14:38	8 生活道路交差点部と単路部における事故リスクの算定	○吉井 稔雄 坪田 隆宏 倉内 慎也 白柳 洋俊	愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学	37 通学路内における児童の歩行特性の定量的把握と道路環境が与える影響に関する分析	○村松 尚人 杉木 直 松尾 幸二郎 水谷 晃啓	豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学	65 豊田市足助地区におけるスクールの再編可能性に関する研究	○秦 竜平 三輪 富生 羽持 千歩 森川 高行	名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学	95 時間変動係数に基づく発時刻への時間帯別OD交通量逆推定手法の改良	○藤田 素弘 中井 俊介 ○市村 康平	名古屋工業大学 名古屋高速道路公社 中日本高速道路株
15:01	9 高速道路における追い越し時の速度差 (実務論文)	○森 健二 矢野 伸裕 横関 俊也	科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所	38 観光地等における歩行特性に関する基礎的研究	○吉田 純士 中西 賢也 豊田 将嘉 岩崎 正久 渡辺 英俊 日向野 茂	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 (公社)日本交通計画協会交通計画研究所 ㈱国際開発コンサルタンツ ㈱国際開発コンサルタンツ ㈱国際開発コンサルタンツ	66 愛媛県内の高校生の通学実態に関する調査報告 (実務論文)	○山口 晋弘 白石 悦二 陽康 暢彦 松村 暢彦	日本工営株 日本工営株 日本工営株 愛媛大学	96 群知能技術を用いた都市高速道路の料金設定方法の提案	○井ノ口 弘昭 秋山 孝正	関西大学 関西大学
15:24	10 高速道路の付加追越車線運用が下流の事故多発区間に及ぼす影響の考察 (実務論文)	○早河 辰郎 川島 陽子 近田 博之	中日本高速道路株 中日本高速道路株 中日本ハイウェイエンジニアリング 名古屋株	39 視覚障害者街歩き支援ナビゲーションの拡充とバーチャル散歩実験手法の検討	○松本 浩子 内田 敬 山口 理紗	大阪市立大学 大阪市立大学 大阪ガス都市開発株	67 乗用タクシーによるモビリティ代替可能性の検討	○加藤 秀樹 福本 雅之	(公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所	97 混雑課金を考慮した都市高速道路料金に関する交通均衡分析	○常 尊奎 井ノ口 弘昭 秋山 孝正	関西大学 関西大学 関西大学

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表および自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(4階ギャラリー)

16:20	11 逆走経路のパターン分類にもとづく逆走要因の分析	○浜岡 秀勝 松原 亮太	秋田大学 本間組	40 An Analysis of Pedestrian and Vehicle Behavior on Unsignalized Mid-block Crosswalks	○Yu WU Xin ZHANG Hideki NAKAMURA	Nagoya University Nagoya University Nagoya University	68 バス情報標準フォーマット導入による中小バス事業者ダイヤ改定業務時間削減効果の試算	○平沢 隆之 坂井 康一 堀江 武 山口 徳人 大川 敬	東京大学 東京大学 元東京大学 東武バスソリューション株 東京大学	98 都市内高速道路の交通量推計におけるリンクパフォーマンス数値の改良	○中島 寛崇 板橋 達夫 清水 哲夫 三輪 富生 茂木 渉	首都高速道路株 首都高速道路株 首都高速東京 名古屋大学 (一財)計量計画研究所
16:43	12 安全運転自己診断結果を用いた料金所手前での不正転回パターン分類	○飯田 克弘 井上 剛志 森泉 慎吾	大阪大学 西日本高速道路株 大阪大学	41 歩行者用信号青点滅の明滅周期の違いによる心理的影響 (実務論文)	○横関 俊也 森 健二 矢野 伸裕	科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所	69 路線バスにおける集団走行発生時の運行方法の有効性分析	○胡 敏兒 保田 義之 井ノ口 弘昭 秋山 孝正	関西大学 関西大学 関西大学 関西大学	99 固定層を考慮した貨物車の高速道路選択モデル	○塩田 敏史 佐野 可寸志 堀山 紀一郎 高橋 貴生	長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
17:06	13 高速道路出入口部における逆走への気づきやすさと空間構成要素の関係 (実務論文)	○永見 豊 鈴木 晴子 滝沢 正仁	拓殖大学 八王子義志高校 拓殖大学	42 街路整備に向けたAIトラッキングによる歩行空間評価手法の開発	○轟 直希 柳沢 吉保 滝澤 善史 西川 嘉雄 高山 純一	長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 金沢大学	70 地下鉄における「安心」の構造と事業者施策が安心度合に及ぼす影響に関する研究	○瀬良 敦希 中村 文彦 有吉 亮 田中 伸治 三浦 詩乃	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学	100 集積の経済を考慮した空間応用一般均衡分析: 道路整備が人口分布に与える影響	○関野 景介 高山 雄貴 山口 裕通	金沢大学 金沢大学 金沢大学
17:29	14 軽度認知障害患者による逆走判断時間および逆走通知の評価 (実務論文)	○永見 豊 二瓶 美里 長尾 朋紀 玉井 顯 中川 浩 塩田 祐也 松田 健介	拓殖大学 東京大学 東京大学 敦賀温泉病院 東日本高速道路株 東日本高速道路株 ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング	43 高齢歩行者の歩行活動と交通事故の関係性に関する研究	○宮崎 萌 寺奥 淳 森本 章倫	㈱西武プロパティーズ ㈱建設技術研究所 早稲田大学	71 バス待ち行動分析に基づくバス停でのバス待ち抵抗緩和の要因に関する研究	○作田 莉子 有吉 亮 中村 文彦 田中 伸治 三浦 詩乃	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学	101 統合型需要モデルを用いた高速道路整備に伴う利用者便益の計測	○西 真宏 倉内 慎也 吉井 稔雄 坪田 隆宏	愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学
17:52	15 視覚的逆走対策によるMCIを含む高齢者の逆走への気づきやすさのCG動画を用いた評価	○長尾 朋紀 二瓶 美里 鎌田 実 玉井 顯 永見 豊 中川 浩 塩田 祐也 松田 健介	東京大学 東京大学 東京大学 敦賀温泉病院 拓殖大学 東日本高速道路株 東日本高速道路株 ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング	44 東日本大震災被災地区におけるインフラフィジックシステムの運用	○塚田 伸也 佐々木 真史 森田 哲夫 牛田 啓太 小松 正史	前橋市 立命館大学 前橋工科大学 工学院大学 京都精華大学	72 自転車と公共交通の一体的経路案内による公共交通の利用意向向上に関する研究	○及川 幸広 小嶋 文 間邊 哲也	元埼玉大学 埼玉大学 埼玉大学	102 高速道路の新規整備が国民経済と国土構造にもたらす影響の計量分析	○片岡 将 柳川 篤志 樋野 誠一 毛利 雄一 田中 皓介 川端 祐一郎 藤井 聡	京都大学 京都大学 (一財)計量計画研究所 (一財)計量計画研究所 東京理科大学 京都大学 京都大学

第38回交通工学研究発表会 第2日目 [2018年8月8日(水)] プログラム

発表10分、質疑12分 は発表者

第1会場(4階141教室)

第2会場(4階142教室)

第3会場(4階143教室)

第4会場(4階144教室)

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 3: 生活道路. Includes papers 16-22.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 7: 情報提供・運転支援. Includes papers 45-50.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 11: 交通データの応用. Includes papers 73-79.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 15: 交通容量・サービス水準. Includes papers 103-108.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 4: 高齢ドライバー. Includes papers 23-26.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 8: 運転者認知・挙動. Includes papers 51-54.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 12: 都市交通計画. Includes papers 80-83.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Section 16: 自転車交通. Includes papers 109-112.

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表および自主研究活動のパネル展示を行います。 於 デモ会場(4階ギャラリー)

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Includes papers 27-29.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Includes papers 55-57.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Includes papers 84-87.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Includes papers 113-116.

Table with 3 columns: Time, Title, and Author. Includes papers 16:39 and 17:02.